

### 第3学年3組 学級活動(2) 指導案

日 時 令和4年12月 9日(金) 第1校時

- 1 題材名 「よりよいコミュニケーション」を考えよう！  
(ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成)

#### 2 本時の目標

インターネット上に公開する上でのルールやマナーの大切さに気付き、相手にとって気持ちのよいコミュニケーションをとろうとすることができるようにする。

#### 3 授業の構想

##### (1) 題材設定の理由

教育現場でも生徒一人一台のタブレットが支給され、インターネット使用は身近になり関心も高まっている。インターネット使用は、非常に便利で有用であるが、使い方を間違ってしまうとトラブルに巻き込まれる恐れもある。またインターネットには、生徒同士の人間関係の形成に大きな意味をもつ便利な機能も備わってきている。しかしその便利さも、インターネットの特性をよく理解しない生徒が使用してしまうことで思いがけない人間関係のトラブルに発展することも少なくない。

##### (2) 生徒の実態

(略)

##### (3) 指導観

本学習においては、生徒自身が自分事として捉えやすくするために、LINE株式会社と静岡大学准教授の塩田真吾先生により作成された教材や資料を活用する。メッセージのやりとりや投稿する上でインターネットを安全かつ有効に利用するために必要とされる知識(インターネットの特性や公開における注意事項など)を理解できるようにし、インターネットを利用する際の基本的なルールやマナーの大切さに気付くことができるようにしていきたい。

#### 4 授業の構想と「信夫スタイル」との関連

- ・ 「ふくしま情報モラル診断」のアンケートについて再考する機会を設けるために、アンケート結果を全体で確認できるように提示する。 【視覚化】
- ・ 多様な考え方に気付かせるため、生徒用 iPad の MetaMoji Classroom を用いて考えを共有する。 【共有化】
- ・ 授業を振り返り、自分の考えを整理し、まとめるためにワークシートを活用する。 【焦点化】

#### 5 主な参考文献等

- ・ LINE 未来財団 HP <https://line-mirai.org/ja/>



6 学習過程

段階	学習活動・内容 ・予想される生徒の反応	時間 形態	○指導上の留意点 ●評価(手法) ◎手だて
課題把握	1 導入 (1) ふくしま情報モラル診断の質問を振り返る。	6 一斉	◎ アンケート結果について再考する機会を設けるために、結果を提示する【視覚化】
	2 課題の確認 (1) 前時の内容を振り返り、本時の課題を確認する。	1 一斉	○ 正答率が低かった質問を再考する機会を設ける。  気持ちのいいコミュニケーションをするには、どんなことに気をつければよいだろうか。
課題解決	3 学習課題に取り組む。 (1) 写真の公開 ネット上に公開されたら「イヤだな」と感じる写真を選ぶ。 ① 選んだ写真とその理由について班で共有する。 ② 学級全体で確認し、気付いたことを発表する。  (2) 写真の公開基準 5枚の写真から、ネット上に公開する写真を選ぶ。 ① 公開する写真としない写真を並べかえ、その理由について考える。 ② 公開する写真としない写真の理由について班で共有する。 ③ 学級全体で確認し、気付いたことを話し合う。 ④ 5枚の写真をもしネットで公開する場合、どのようなことに気を付けるか話し合う。  (3) 返事の返し方 ① 会話の流れを理解し、会話の続きを考えワークシートに記入する。 ② 班で流れを確認し、意見・考えを共有する。 ③ ①のあと、さらに続く相手の言葉にどのように返信するか考え、ワークシートに記入する。 ④ 班で意見・考えを共有し、話し合う。 ⑤ 学級全体で意見・考えを共有し、話し合う。	5 個人  班 一斉  15 個人  班 一斉  15 個人  班 個人 班 一斉	○ MetaMoji ClassRoom内のカードやワークシートを活用するよう助言する。 ○ 共有しやすい雰囲気にするために、相手の考えや意見に対し肯定的に聞くように促す。  ○ 生徒が想像しやすいように、提示する写真について具体的な状況や場面を説明する。  <b>◎ 多様な考え方に気付かせるために生徒用iPadでMetaMoji ClassRoomを用いて考えを共有する。【共有化】</b>  ○ 多くの生徒が発表できるように、意図的な指名を心がける。  ○ 考えやすくなるように、実際起こりうるような具体的な場面設定にする。  ○ 自分の意見や考えを伝えることができるように、自分事として考える時間をしっかり確保する。  ○ さまざまな意見や考えがあることに気付けるように、意図的に指名を行う。
まとめ	4 本時のまとめをする。 (1) 今後自分が気を付けていくことやいかしていくことを決めワークシートに記入して、全体で共有する。  ・人によって「イヤだ」と思う基準が異なる。 ・公開した写真は消すことができない。 ・どんな人が見るかを想像する。	8 個人 一斉	○ 反省点や今後の生活の中で気を付けることや考え方について意思決定できるように助言する。 ● コミュニケーションの相手のことを思ったり考えたりすることの大切さについて、自分の言葉で表し、気持ちのいいコミュニケーションに取り組もうとしている。 (観察・ワークシート)  <b>◎ 授業を振り返り、自分の考えを整理し、意思決定するためにワークシートを活用する。【焦点化】</b>

「よりよいコミュニケーションにするために」

1. 「ふくしま情報モラル診断」から

問題1

楽しくライブ配信を見ているとき、チャットに「つまんねー」と何度も書き込んでくる人がいます。この時の対応として適切なものはどれか。

- ① 「つまらないなら見なければいいのに」とチャットする。
- ② 「荒らしはやめてください」とチャットする。
- ③ その人を無視またはブロックする。
- ④ その人のアカウントを特定してSNSにさらす。

この学級の正答率 96%

「よりよいコミュニケーションにするために」

1. 「ふくしま情報モラル診断」から

問題2

スマホでゲームをしていたらいきなり「この端末はウイルスに感染しました。ただちに表示されたソフトをインストールしてください」と警告画面が表示されました。この時の対応として適切なものはどれか。

- ① ウイルスを除去するために、すぐにインストールする。
- ② そのまま無視して、ゲームを再開する。
- ③ ゲームをアンインストールしたり、消費生活センターに相談したりする。

この学級の正答率 70%

「よりよいコミュニケーションにするために」

1. 「ふくしま情報モラル診断」から

問題4

友達からSNSで「有名な〇〇さんのキーホルダーがあまっているから1つあげるね」というメッセージが送られてきました。もし、あなたが断るとすれば、どのような返答がよいか。最も適切なものはどれか。

- ① 「いらない。」
- ② 「え、微妙。」
- ③ 「うれしいけど興味ないからいらないよ。」
- ④ 「返信しない」

この学級の正答率 74%

「よりよいコミュニケーションにするために」

1. 「ふくしま情報モラル診断」から

問題5

知らないアドレスから「今度会わない？」というメールが届きましたが、アドレスを検索すると迷惑メールであることがわかりました。このような迷惑メールを未然に防ぐための方法として適切なものをすべて選びなさい。

- ① サイトやアプリ等にむやみに個人情報登録しないようにする。
- ② メールアドレスをできるだけ短くする。
- ③ SNS上でメールアドレスや電話番号を公開しない。
- ④ メールアプリの設定で迷惑メールをブロックする。

この学級の正答率 48%

「よりよいコミュニケーションにするために」

1. 「ふくしま情報モラル診断」から

問題7

SNSで福島県を他県の人たちに伝えようと思い、ビデオカメラを使って山の風景を撮影したところ、登山に来ていた人たちが動画の中に写り込んでいました。この動画を投稿する際の対処として適切なものはどれか。

- ① 「一般の方が写っています」と注意書き（テロップ）を入れる。
- ② 一般の人が写っている場面をカットする。
- ③ そのまま投稿する。

この学級の正答率 89%

「よりよいコミュニケーションにするために」

コミュニケーションとは  
どんなときに必要になるのか？

お互いの考えが「**ちがう**」場合で、  
お互いの考えを（**理 解**）しようとする時に  
コミュニケーションが必要になる

「よりよいコミュニケーションのために」

授業の課題

気持ちのいいコミュニケーションをするには  
どんなことに気を付ければよいだろうか。

授業のテーマ

**ネット上に公開する上での  
ルールやマナーを理解する**

「よりよいコミュニケーションのために」

あなたは思う？

「あなたがネットに公開されて  
『イヤだな』と感じる写真は？」

- |          |          |
|----------|----------|
| 1 自分の寝顔  | 2 自分の変顔  |
| 3 自分の部屋  | 4 自分の運動中 |
| 5 自分の食事中 |          |

MetaMoji Classroomでイヤだと思う言葉を選んで答えて (2ページ)

「よりよいコミュニケーションのために」

「嫌な写真」は人によってちがう  
自分と同じとは限らない

ネットだと、  
相手の（表情）や（感情）がわからないから  
相手がイヤがっていることに気づきにくい。

自分はイヤじゃないと思ってネットに公開したら  
相手はイヤな気持ちになることもあるかも・・・

「よりよいコミュニケーションのために」

「公開してもよいと思う写真」は  
人によってちがう

自分は公開してもよい写真だと思っていても  
ネットに公開したら  
相手はイヤな気持ちになることもあるかも・・・

「よりよいコミュニケーションのために」 (4ページ)

ネットの特性として理解が必要なことは、

- ① 公開した写真は、いろいろな人が見る可能性がある。
- ② 公開した写真は、すぐに広がってしまう。
- ③ 公開した写真は、消すことができない。  
※ これは、デジタルタトゥー と言われている
- ④ 公開した写真は、場所がわかる ことがある。


「よりよいコミュニケーションのために」

これらの写真を投稿するときに、  
どのようなことに気を付ければいいのか。  
どのようなことが心配されるか考えよう。



「よりよいコミュニケーションに  
あなたならどうする？  
(ネット上の会話)

あなたを入れた4人のグループ  
まず、あなたが発言します。  
文字やイラストで会話が進みます。  
あなたは、どんな  
会話を続けますか？  
考えてみよう。(5ページ)



これには、まだ続きが...

「よりよいコミュニケーションに

自分だけカワイイ写真じゃない？うざ

あなたは  
どのように対応しますか？  
なぜこのようになったのか。  
考えてみよう。(6ページ)

他の人と考えを  
共有してみよう。



「よりよいコミュニケーションにするために」  
授業の課題  
気持ちのいいコミュニケーションをするには  
どんなことに気を付ければよいだろうか。

確認  
「公開してもよいと思う写真」は  
人によってちがう

ネット上では、相手の表情や感情がわからない。  
相手がイヤがっていることにも気づきにくい。

本日の授業についてMetaMoji Classroomに書く (7ページ)

## 第1学年2組 学級活動(2) 指導案

日時 令和4年12月12日(月) 第5校時

1 題材名 「SNSの使い方を考えよう」(エ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成)

### 2 本時の目標

ネットトラブルの原因と対策を考えることを通して、自分たちのSNSの使い方を振り返り、安全なSNSの使い方について考え実践しようとする。

### 3 授業の構想

#### (1) 題材設定の理由

スマートフォンの普及により、多くの中学生が自分専用のスマートフォンを持っているのが現状である。そして、中学生が利用するスマートフォンの機能は、SNSやゲーム、音楽の試聴などが中心となっている。その中でもSNSに関しては、書き込みの内容を巡って様々なトラブルが発生しており、それらはSNSの特性を十分理解していないことや、自分本位の考え方に起因していることが多い。

本題材では、生徒のSNSの利用の仕方の中で起こりやすいトラブルの事例についてその原因と対応策を考えさせることを通して、自分たちのSNSの使い方について、改善を図らせたい。

#### (2) 生徒の実態

(略)

#### (3) 指導観

本時は、一般財団法人日本教育情報化振興会が公開している「ネット社会の歩き方」の108ある動画の中から3つの内容(a. 悪質な書き込み・b. リアルな情報の発信・c. なりすまし)を取り上げ、各班1つ(2班が同じ)の内容について原因や対策を考えさせる授業である。話し合った内容についてはMetaMoji ClassRoomを使って発表させることで、自分たちの班が話し合わなかった内容についても理解を深めさせる手だてとする。

授業の終末に同サイトの資料(SNSシミュレーター)を使ってグループラインでの会話(既読無視)を再現し、自分一人がグループ全体から突然無視されたときにどう感じるかを考えさせることを通して、自分のこれまでのSNSの使い方を見直し、今後の使い方についても考えさせる。

### 4 授業の構想と「信夫スタイル」との関連

- ・本時の学習内容を把握させるため、学級全体で3つの動画すべてを視聴する。【視覚化】
- ・自分の班のトラブル動画について原因や対策を話し合い、その意見をまとめるため、MetaMoji ClassRoomを利用する。【共有化】
- ・各班で話し合った内容の共有化を図るため、MetaMoji ClassRoomを利用して発表する場を設定する。【視覚化・共有化】
- ・既読スルーにより仲間はずれにされた側の気持ちを理解させるため、SNSシミュレーションソフトの画面をWebex Meetingsで共有し、疑似体験させる。【視覚化・共有化】
- ・今後のSNSの使い方について考えるために、トラブル事例を通して考えたことをワークシートに整理する場面を設定する。【焦点化】

### 5 主な参考文献等

- ・一般財団法人日本教育情報化振興会「ネット社会の歩き方」  
<http://www2.japet.or.jp/net-walk/>



6 学習過程

段階	学習活動・内容 ・予想される生徒の反応	時間 形態	○指導上の留意点 ●評価(手法) ◎手だて
課題把握	1 前時の学習内容を確認する。 2 本時の課題を知る。	5 一斉	○ 前時の内容を確認することで、本時のSNSの使い方への課題意識を高めることができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">SNSでのトラブルはなぜ起こるのか。</div>
課題解決	3 SNSでのトラブルの事例を動画で見る。  4 自分たちの班の動画の内容について、トラブルの原因や対策を話し合う。 (1) トラブルの原因やどうすれば防げたのか、起こった後はどうすれば良いかを考える。 (2) 個人で考えた内容について、班で話し合い、MetaMoji Classroomに整理する。 a. 自分のSNSでもでたらめなことを書くのはよくない。 b. 今どこにいるかを書き込んだら、無関係な人にも居場所を知らせるのと同じだ。 c. SNSは嘘の写真などで他の人になりすませるから、すべてを信じてはダメだ。 5 動画ごとに、各班の考えを発表する。 a. SNSの情報は「公開」にしたなら世界中の人から見られることを忘れてはいけない。 b. 書き込みの内容や写真から個人情報特定される危険があるから、情報発信は慎重にしなければならない。 c. SNSの写真や文字だけを信じると大きなトラブルに巻き込まれる危険がある。 6 SNSのやり取り（既読スルー）の事例をWebex Meetingsを通して疑似体験する。 (1) Webex MeetingsでSNSのやり取りを疑似体験する。	10 一斉  10 個人  小集団  10 一斉  5 一斉	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">◎ 他の班のトラブル事例の発表を聞くための準備として、全てのトラブル事例を学級全体に見せる。【視覚化・共有化】</div> ○ 必要に応じて、動画を再視聴できるように、MetaMoji Classroomで動画を共有しておく。 ● 自分の考えをワークシートに整理することができたか。(ワークシート)  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">◎ 自分の班のトラブル事例について原因や対策を話し合い、その意見をまとめるため、MetaMoji Classroomを活用する。【共有化】</div> ○ 話し合いの司会や発表者、どの部分の内容を誰が記入するかなどを事前に決めさせることで1人1役となるようにする。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">◎ MetaMoji Classroomを使って発表させることで、発表内容を視覚的にも捉えさせ、他の班の内容についても十分理解できるようにする。【視覚化・共有化】</div> ○ 学級全体で情報の共有化を図るため、班でまとめる時にはMetaMoji Classroomを使用するよう指導する。【視覚化・共有化】  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">◎ 既読スルーで仲間はずれにされた側の気持ちを理解させるため、SNSシミュレーションソフトの画面をWebex Meetingsで共有し、疑似体験させる。【視覚化・共有化】</div> ○ SNSシミュレーションソフトは教師用タブレットPCでしか操作できないため、生徒を指名して操作させ、感想を発表する場を設定する。
まとめ	7 本時を振り返る。  今までの自分のSNSの使い方の問題点や、今後SNSを利用する上で気を付けたいことを決める。	5 一斉  5 個人	○ 各班の挙げた原因の中から、共通する部分をあげ、自分がSNSをやる上で気を付ける必要があることを確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">◎ 今後のSNSの使い方について考えるために、トラブル事例を通して考えたことをワークシートに整理する場面を設定する。【焦点化】</div> ● これまでの自分のSNSの使い方を振り返り、今後のSNSの使い方についてこれから取り組むことを決めている。(ワークシート)